

芦北地域のワーキンググループ（医師会理事会）での検討結果

日時：①令和元年8月27日（火） 19：15～20：00
 ② 9月24日（火） 19：20～19：45
 ③ 10月28日（月） 19：00～19：30
 ④ 11月29日（金） 19：00～19：30

場所：水俣市芦北郡医師会館

医師会：理事等15人

水俣保健所：小宮所長、西山次長、柳田参事

芦北圏域の外来医療機能について

1 夜間・休日の初期救急について

(1) 現状

| 項目 | データ |
|--------------------|--------|
| ①年間救急者数（在宅当番対応時間内） | 2,789人 |
| ②在宅当番医医療機関数 | 30医療機関 |

(2) 目指すべき方向性

芦北圏域では、30医療機関が在宅当番医制に参加し、地域の初期救急を担っている。夜間や在宅当番日以外の休日でも対応している医療機関がある。初期救急については、在宅当番医制による診療体制を維持する。

2 公衆衛生分野について

(1) 現状

| 項目 | データ |
|----------------|----------|
| ①学校医数（学校数） | 34人（25校） |
| ②予防接種を実施する医療機関 | 36医療機関 |
| ③認定産業医数 | 31人 |

(2) 目指すべき方向性

① 学校医

芦北圏域には小・中・高・支援学校が計25校あり、基本的に1校あたり内科・眼科・耳鼻科の計3人の学校医が配置されている。

現状では、34人の医師が25校を対応しており、学校医については、現状の体制を維持する。

② 予防接種を実施する医療機関

芦北圏域の予防接種の実施は、36医療機関が対応しており、現状の体制を維持する。

③ 産業医

芦北圏域では、31人の医師が産業医となっている。産業医については、ストレスチェックや長時間勤務者への対応が必要になったことに加え、働き方改革関連法により機能強化が図られており、健康相談の実施等において、より一層の役割が求められている。

3 在宅医療について

(1) 現状

| ①在宅医療支援病院 | ②在宅医療支援診療所 | ③在宅医療後方支援病院 | ④訪問看護ステーション |
|-----------|------------|-------------|-------------|
| 2医療機関 | 6医療機関 | 1医療機関 | 7施設 |

(2) 目指すべき方向性

高齢化の進展に伴い通院困難な要介護度の高い高齢者が増加し、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことが求められている。水俣市芦北郡医師会に、水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター（市町委託）や芦北圏域在宅医療サポートセンターを設置し、取組みを進めている。

住民が希望する身近な地域で安心して暮らすことができるよう在宅医療の提供体制の充実を目指す。

4 医療機器の状況

(1) 主な医療機器の配置状況

| 機器名 | 所有医療機関数 | 機器名 | 所有医療機関数 |
|-----|---------|---------|---------|
| CT | 12医療機関 | マンモグラフィ | 1医療機関 |
| MRI | 2医療機関 | リニアック | 0医療機関 |
| PET | 0医療機関 | | |

(2) 目指すべき方向性

現状においても、国保水俣市立総合医療センター（地域医療支援病院）で医療機器の共同利用を図っている。

引き続き、地域における共同利用を進めるとともに、(1)にあるような高額な医療機器の購入、更新等の場合には、地域医療構想調整会議で共同利用の方針について確認を行うこととする。